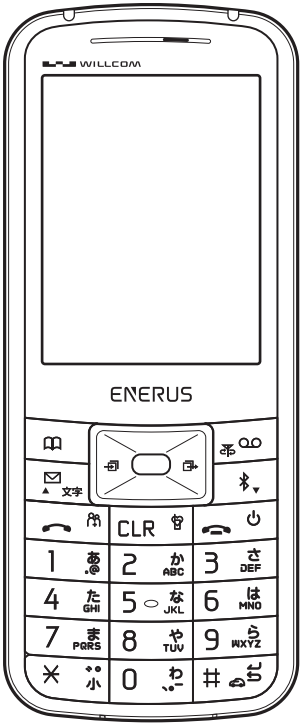
ENERUS

WX03S

取扱説明書



お使いになる前に
基本操作
電話をかける／受ける
Bluetooth機器と接続して使う
文字入力
電話帳
メール
音・表示・照明の設定
カレンダー
セキュリティ
便利な機能
ウィルコムの各種サービス
データフォルダ
付録

SII

セイコーインスツル株式会社

無断転載を禁じます。
本書の内容は、断りなく変更することがあります。
本書および本書に記載された製品の使用によって発生した損害およびその回復に要する費用に対し、弊社は一切の責任を負いません。
本製品が不要になったときはモバイルリサイクルネットワークのマークのある販売店へお持ち込ください。
やむを得ず廃棄する場合には地方自治体の条例に従ってください。

SII はセイコーインスツル株式会社の登録商標です。
・ Androidは、Google Inc.の商標です。
・ iPhoneは、Apple Inc.の商標です。
・ iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
・ Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth® SIG,Inc.が所有する登録商標であり、SIIは、これら商標を使用する許可を受けています。
その他、記載されている会社名、システム名、製品名などは、各社の商標または登録商標です。

・ 本製品には、株式会社リムコーポレーションのフォントを使用しています。
・ 日本語変換は、オムロンソフトウェア(株)の Advanced Wnn を使用しています。
Advanced Wnn (c) OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2002-2007 All Rights Reserved.

はじめに

この度は、「WX03S」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご利用の前に、本書をよくお読みになり、本電話機を正しくお取り扱いください。また本書は大切に保管してください。
また、本電話機は電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合し、技適マークを画面に表示することができます。

表示方法は、「適合規格情報を表示する（P.37）」をご覧ください。

■注　意■

本書の内容は予告なしに変更する場合がございます。

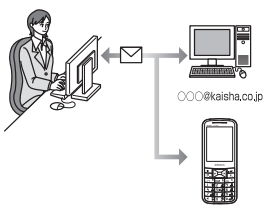
こんなことができます

電話機能のほかにも、便利に使える機能があります。

Eメール

ウィルコムのEメールのほか、パソコンなどで使っているメールアドレスのEメールが送受信できます。

Eメールをするには（→P.119）



赤外線通信

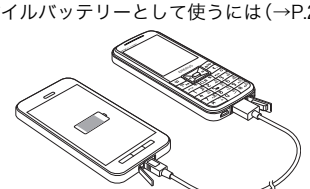
赤外線通信対応の電話機同士で電話帳データをやり取りできます。

赤外線通信をするには（→P.194）

モバイルバッテリー

スマートフォン等と接続することで、モバイルバッテリーとして給電することができます。

モバイルバッテリーとして使うには（→P.201）



ライトメール

ウィルコムの対応機種同士でリアルタイムなメールのやり取りができます。

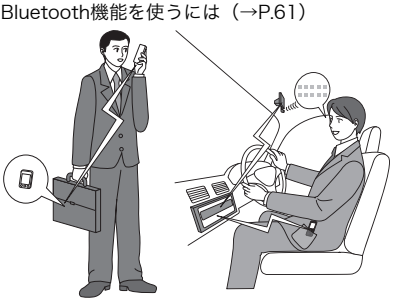
ライトメールをするには（→P.122）

Bluetooth機能

Bluetooth 機能搭載の機器と接続することで、次のような使い方ができます。

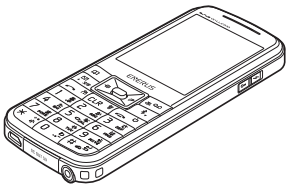
- スマートフォン等の発着信やミュージックプレイヤーを利用する。
- カーナビ等と接続して、本電話機への着信を受ける。

Bluetooth機能を使うには（→P.61）

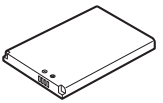


セットを確認する

本体



電池パック



電池カバー

取扱説明書（本書）／保証書（本書裏面）

注　意

万一梱包内容に不足がある場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

目次

はじめに 1
こんなことができます 2
Eメール 2
赤外線通信 2
モバイルバッテリー 2
ライトメール 2
Bluetooth 機能 2
セットを確認する 3
目次 4
安全上のご注意 11
免責事項について 12
WX03S 本体、電池パック共通 13
WX03S 本体について 14
電池パックについて 17
知っておいてください 17
お取り扱い上のご注意 18
WX03S 本体、電池パック共通 18
WX03S 本体について 18
電池パックについて 19
充電について 19
Bluetooth 機能について 19
ヘッドフォン、イヤフォンについて 20
本書の読み方 20

お使いになる前に 21

各部の名前と機能 22
本体 22
ディスプレイ 23
待受け画面メッセージ 25
電池パックを取り付ける 26
充電する 27
AC アダプタで充電する 27
パソコンと接続して充電する 28
電池残量の確認 29
電源を入れる／切る 29
機能の呼び出しかた 30
キー操作の基本 30
メニューから選択する 30
操作中のメニューを使う 33
暗証番号について 34
発信者番号通知について 35
日付・時刻の設定 35
日付と時刻を設定する 35
自動補正設定を設定する 35
サイドキーの設定 36
プロフィールの設定 36
プロフィールを表示する 36
編集する 36
赤外線通信で送受信する 37
適合規格情報を表示する 37

基本操作 39

電話をかける 40
電話を受ける 40
着信履歴・発信履歴を確認する 41
電話帳を利用する 41
文字を入力する 42
メールを作成する 42
メールを読む 43

電話をかける／受ける 45

電話をかける 46
発信者番号の通知／非通知を指定して電話をかける 47
電話を受ける 48
通話キー以外のキーでも電話に出られるようにする（エニーキーアンサーの設定） 48
電話に出る前に着信音を止める 48
着信中に留守番電話応答する 48
通話中の操作 49
強い電波をサーチする 49
受話音量を設定する 49
通話を保留する 49
通話中に電話番号をメモする 49
通話中の相手の声を録音する 49
通話中の着信通知を設定する 51
着信履歴・発信履歴 51

着信履歴を確認する……51
発信履歴を確認する……52
着信履歴・発信履歴から電話をかける……52
着信履歴・発信履歴を消去する……53
履歴をソートする……54
マナーモードの設定……55
マナーモードを起動／解除する……55
マナーモードを編集する……55
留守番電話の設定……56
留守番電話を設定／解除する……56
応答メッセージを設定する……57
録音メッセージを再生／削除する……57
安全運転モードの設定……58
安全運転モードを起動／解除する……58
安全運転モードを選択する……58
累積通話時間を見る……59

Bluetooth 機器と接続して使う 61

Bluetooth 機能の概要……62
親機または子機に設定した場合のそれぞれの機能……62
Bluetooth 機能を利用する際の流れ……62
[ﾀｽｸ]キーについて……62
Bluetooth 機能を初期設定する……63
本電話機を親機モード、Bluetooth 機器を子機にする場合……63
本電話機を子機モード、Bluetooth 機器を親機にする場合……64
Bluetooth 機能を ON にする……65
[ﾀｽｸ]を使用して ON にする場合……65
Bluetooth メニューからキー操作する場合……65
本電話機を親機 / 子機モードに設定する……65
Bluetooth 機器を接続先として登録する……66
本電話機が親機モードの場合に、Bluetooth 機器を子機として登録する……66
本電話機が子機モードの場合に、Bluetooth 機器を親機として登録する……67
登録された Bluetooth 機器情報を見る……68
登録した Bluetooth 機器と接続する……70
Bluetooth 機器の接続を解除する……71
本電話機を親機モードで使用する……71
子機となる Bluetooth 機器で、本電話機への電話を受ける……71
本電話機を子機モードで使用する……72
親機となる Bluetooth 機器の回線を利用して電話をかける……72
音声コントロールを利用して電話をかける……72
親機となる Bluetooth 機器の電話を受ける……73
Bluetooth 機能を利用した通話中の操作74
受話音量を設定する……74
通話を保留する……74
通話中に電話番号をメモする……74
親機となる Bluetooth 機器のミュージックプレイヤーを操作する……75
Bluetooth 機器と電話帳の送受信をする……76
Bluetooth 機器から電話帳を受信する……76
本電話機から電話帳を送信する……77
Bluetooth 機器と接続時の各種設定をする79
着信音を設定する……79
接続が切断されたときの警告音を設定する……79
Bluetooth 機能の未リンク OFF を設定する……80
本電話機の Bluetooth 関連情報を表示する……80
Bluetooth 機器の電話番号を着信転送先に設定する……81

文字入力 83

文字入力について……84
文字の入力画面について……84
入力モードの切り替えについて……84
文字入力画面でのキー割り当てについて85
文字を入力する……86
漢字やひらがなを入力する……86
カタカナを入力する……87
英字を入力する……88

数字を入力する 89
絵文字／記号等を入力する 89
SJIS コードで入力する 91
文字を修正する 91
文字を消去する 92
文字をコピー／切り取りする 92
範囲を選択してコピー／切り取りする 92
全てコピー / 切り取りする 93
コピー／切り取りした文字を貼り付ける 93
予測機能の利用について 93
予測機能で文字を入力する 93
予測機能を設定／解除する 94
学習内容をリセットする 94
定型文の利用について 94
定型文を利用する 94
定型文を編集する 94
定型文をリセットする 95
アドレス記号の利用について 96
アドレス記号を利用する 96
アドレス記号を編集する 96
アドレス記号をリセットする 96
顔文字の利用について 97
顔文字を利用する 97
顔文字を編集する 97
顔文字をリセットする 98
ユーザ辞書の利用について 99
単語を登録する 99
単語を編集する 99
単語を消去する 99

電話帳 101

電話帳の登録内容 102
電話帳に登録する 103
新規登録する 103
履歴から新規登録する 103
履歴から追加登録する 104
電話帳の利用について 105
電話帳を開く 105
電話帳の表示を切り替える 105
電話帳を検索する 105
様々な情報から電話帳を検索する 106
電話帳から電話をかける 106
電話帳から E メールを作成する 107
電話帳からライトメールを作成する 107
登録した相手をお気に入り登録する 107
電話帳の編集／消去について 108
電話帳を編集する 108
電話帳データを消去する 108
電話番号を入れ替える 109
グループ設定について 109
グループ名を編集する 109
グループの音声着信音を設定する 109
グループのライトメール受信音を設定する 110
グループの LED 点灯を設定する 110
グループのキーバックライトの ON/OFF を設定する 111
グループ設定をリセットする 112
電話帳の登録件数を確認する 112
シークレットデータの表示／非表示を切り替える 113
電話帳の閲覧を制限する 113
電話帳を初期化する 114
ファストコール設定と短縮ダイヤルを利用する 114
ファストコール登録をする 114
ファストコール登録を解除する 115
ファストコール画面から電話をかける 115
ファストコール画面から E メールを送る 115
ファストコール画面からライトメールを送る 115
短縮ダイヤルを利用して電話をかける 115

メール 117

E メール／ライトメールについて 118
E メールについて 118
ライトメールについて 118
メール BOX について 118
E メールの送受信について 119
オンラインサインアップをする 119
オンラインサインアップを消去する 119

E メールを作成／送信する 120
E メールを作成して送信する 120
ファイルを添付する 121
自動的に BCC に宛先が入力されるよう設定する 121
E メールを保存する 122
ライトメールを作成／送信する 122
ライトメールを作成して送信する 122
ライトメールを保存する 123
E メールを受信する 123
自動で受信する 123
サーバから手動で受信する 124
受信した E メールを読む 125
ライトメールを受信する 126
受信したライトメールを読む 126
受信 BOX について 127
受信フォルダの表示 / 非表示を切り替える 127
受信したメールを表示する 127
返信する 128
引用してメールを返信する 128
転送する 128
受信メールをフォルダに振分ける 129
フォルダ名を編集する 129
振分けの条件を設定する 129
振分けを実行する 130
振分け設定を解除する 130
すべての振分け設定を解除する 130
送信／未送信 BOX について 131
送信したメールを表示する 131
メールを編集して送信する 132
メール一覧画面での操作 132
受信 BOX の受信フォルダからメールを消去する 132
送信／未送信 BOX からメールを消去する 133
メールを保護する 134
メールを並び替える 136
メール詳細画面での操作 137
本文をコピーする 137
添付ファイルを表示／保存する 138
差出人と宛先をすべて表示する 138
メール本文中の電話番号やメールアドレスを利用する 138
メールの文字サイズを変更する 139
プロバイダのアカウントを利用する 140
アカウントを設定する 140
アカウントをリセットする 141
アカウントを選択する 141
ダイヤルアップ接続先を設定する 142
ダイヤルアップ接続先をリセットする 143
接続先を選択する 144

音・表示・照明の設定 145

着信音を設定する 146
着信音を設定する 146
音量を設定する 146
バイブを設定する 146
メール受信時の鳴動時間を設定する 147
効果音を設定する 147
着信通話時の LED を設定する 148
着信時の LED 設定 148
通話中の LED 設定 148
キーバックライトの ON/OFF を設定する 149
背景色を設定する 150
壁紙や文字サイズを設定する 150
壁紙を設定する 150
文字サイズを変更する 150
待受け画面の表示を設定する 151
待受け画面に壁紙と時計を表示する 151
待受け画面にカレンダー、バッテリー残量表示、ここどこ表示、Bluetooth を設定する 152
クリック時計を設定する 152
照明の設定 153
バックライト点灯時間を設定する 153
バックライトの明るさを設定する 153
表示時間を設定する 153
電池残量の表示方法を変更する 154

カレンダー 155

カレンダーの利用 156

カレンダーを表示する……156
スケジュールを登録する……157
登録したスケジュールや誕生日の表示について……157
カレンダーの1ヶ月表示を待受け画面に設定する……158
スケジュールを編集する……158
スケジュールを1件消去する……159
選択した日付のスケジュールをすべて消去する……159
スケジュールを全件消去する……159
スケジュールを一覧で表示する……160
指定した日より前のスケジュールを全件消去する……160
スケジュールの登録件数を確認する……160
誕生日を一覧で表示する……160

セキュリティ 161

暗証番号の設定……162
暗証番号を変更する……162
シークレットモードの利用……162
シークレットモードを設定する……162
シークレットモードを解除する……162
機能制限の利用……163
発信を制限する……163
電話帳の利用を制限する……163
メールの利用を制限する……164
履歴閲覧を制限する……164
録音再生を制限する……164
カレンダー表示を制限する……164
メモ帳表示を制限する……165
着信拒否の利用……165
非通知の着信を拒否する……165
公衆電話の着信を拒否する……166
通知不可能の着信を拒否する……166
電話帳に登録されていない電話番号からの着信を拒否する……166
電話番号を指定して着信を拒否する……167
着信拒否の設定をすべて解除する……167
履歴保存の設定……168
発信者番号通知の設定……168
リモートロック（遠隔ロック）の利用……169
リモートロックパスワードを設定する 169
ライトメール利用のリモートロックを設定する……169
ライトメールからリモートロックを起動する……170
サブアドレス利用のリモートロックを設定する……171
サブアドレス番号からリモートロックを起動する……171
キーロックの利用……172
パスワードキーロックを設定する……172
オートロックを設定する……172
管理者ロックの利用……174
管理者パスワードを設定する……175
管理者パスワードを変更する……175
発着信限定 - 発信限定を設定する……175
発着信限定 - 着信限定を設定する……176
Eメール機能限定を設定する……177
オンラインサインアップ禁止を設定する……180
電話帳機能限定を設定する……180
発着履歴閲覧禁止を設定する……181
外部接続禁止を設定する……181
利用禁止時間設定をする……181
管理者ロックの設定状況を確認する……182
管理者ロックをリセットする……182
メモリや設定のリセット……182
本体のメモリを一括消去する……182
設定をリセットする……182
メモリ消去とリセットを一度に実行する……183

便利な機能 185

アラームの利用……186
アラームを設定する……186
アラーム音を止める……187
アラームの設定を変更する……187
タイマーの利用……188
タイマーを中断する……188
メモ帳の利用……189
メモ帳を登録する……189
メモ帳の詳細を表示する……189

メモ帳の内容を 1 件消去する 189
選択したメモを消去する 189
すべてのメモを消去する 190
電卓の利用 190
電卓を利用する 190
割り勘電卓を利用する 190
おごり割電卓を利用する 191
バッテリー残量を表示する 192
バッテリー残量表示を待受け画面に設定する 192
現在地を表示する（ここどこ表示） 193
ここどこ表示を待受け画面に設定する 193
赤外線通信を利用する 194
赤外線で送信する 194
赤外線で受信する 194
音声メモを録音する 195
音声メモを再生するには 195
音声メモを 1 件消去する 195
選択した音声メモを消去する 196
すべての音声メモを消去する 196
電波を停止する 197
通信中の着信通知を設定する 197
位置情報通知機能の利用 198
位置情報通知機能を設定する 198
着信音を設定する 199
国際電話をかける 199
セルフコールの利用 200
セルフコールを鳴らす 200
セルフコールの設定をする 200
モバイルバッテリー機能の利用 201
給電する 201
給電設定をする 201
連続給電時間設定をする 201
バッテリー残量指定を設定する 202
カスタマイズ設定 202
ソフトウェアの更新 203
ソフトウェアを更新する 203
自動更新設定をする 203
パソコンの利用 204
PC ユーティリティを利用する 204
パソコンと接続して充電する 204

ウィルコムの各種サービス 205

留守番電話（ネットワーク留守番電話）／着信転送サービスの利用 206
留守番電話サービス（ネットワーク留守番電話） 206
着信転送サービス 206
留守番電話（ネットワーク留守番電話）／着信転送サービスの設定をする 206
留守番電話センターに保存されたメッセージを聞く 207
分計サービスの利用 208
分計で電話をかける 208

データフォルダ 209

データフォルダについて 210
フォルダの種類 210
ファイルの操作 210
ファイルを表示／再生する 210
ファイル名を編集する 210
ファイルを E メールに添付する 211
ファイルの詳細を確認する 211
ファイルを消去する 211
画像ファイルを壁紙に設定する 212
サウンドファイルを着信音に設定する 212
フォルダの管理 213
データフォルダの容量を確認する 213
フォルダ内のファイルを一括消去する 213
データフォルダ内のすべてのデータを消去する 213

付録 215

機能一覧 216
電話 216
メール 217
データフォルダ 218
ツール 219
カレンダー 220
セキュリティ 220
セキュリティ　管理者ロック 221
赤外線通信 221

Bluetooth 222
Bluetooth 機能設定
リンク切断警告音設定（ON） 222
機能設定 223
機能設定　通信機能　位置情報通知機能
詳細設定 224
マナーモード 225
こんなときは 228
本体について 228
E メール／ライトメールについて 229
Bluetooth について 231
エラーメッセージ一覧 232
記号一覧 236
半角記号 236
全角記号 236
絵文字一覧 237
絵文字 1 237
絵文字 2 237
アニメーション絵文字 238
顔文字一覧 240
アドレス記号一覧 240
定型文一覧 241
SJIS コード一覧 242
アフターサービスについて 258
保証書について 258
修理を依頼されるときは 258
アフターサービスについて
ご不明の場合 258
お問い合わせは 259
主な仕様 260
スペック一覧 261
E メール 261
ライトメール 261
メール BOX 261
データフォルダ 261
索引 263

安全上のご注意

「安全上のご注意」では、本電話機をご使用になる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載してあります。
記載内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次のように説明しています。
次の表示区分は、表示内容を守らず誤った使用をした場合に生じる危機や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合「人が死亡または重傷*1 を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合「人が死亡または重傷*1 を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合「人が傷害*2 を負う可能性が想定される場合および物的損害*3 の発生が想定される」内容です。

*1「重傷」とは、失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を必要とするものを指します。
*2「傷害」とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
*3「物的損害」とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

次の表示区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。	強制	強制（必ず実行していただくこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
ぬれ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。	電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

免責事項について

・地震、雷、風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
・本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断、記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
・取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
・当社が関与していない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
・大切なデータは、コンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをお勧めします。万一、登録された情報内容が変化、消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

WX03S本体、電池パック共通

WX03S本体、電池パックのそれぞれにも注意事項の記載があります。必ずお読みになり記載事項をお守りください。

⚠危険

強制

必ず専用の周辺機器をご使用ください。
専用の周辺機器以外を使用すると破裂、発火、火災、漏液の原因となります。
〈周辺機器〉
電池パック

禁止

高温になる場所（火のそば、ストーブのそば、炎天下、こたつの中など）での使用や放置、保管をしないでください。
破裂、発火、火災、やけど、発熱の原因となります。

禁止

引火性ガスや油煙が発生する場所では使用しないでください。
ガスに引火し、破裂、発火、火災の原因となります。ガソリンスタンドでの給油中など、引火性ガスが発生する場所では電源を切り、充電もしないでください。

禁止

火の中に投入したり加熱しないでください。
破裂、発火、火災、発熱の原因となります。

禁止

導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接続端子に接触させたり、内部に入れたりして接続端子をショートさせないでください。
破裂、発火、火災、発熱、感電の原因となります。

⚠警告

禁止

加熱用機器（電子レンジなど）や高圧容器に入れないでください。
破裂、発火、火災、発熱の原因となります。

分解禁止

分解や改造をしないでください。
故障、発火、感電、傷害の原因となります。修理などはウィルコムサービスセンターまたはセイコーインスツルサポートデスクまでご連絡ください。

禁止

落下させる、投げつける、踏みつけるなど強い衝撃を与えないでください。
破裂、発火、火災、発熱の原因となります。

強制

使用中に煙が出る、においがする、異常な音がするなど異常が起きたら直ちに使用を中止してください。
異常が起きた場合は電源を切り、電池パックを外してください。充電中の場合は、コンセントからACアダプタを外してください。その後、ウィルコムサービスセンターまたはセイコーインスツルサポートデスクまでご連絡ください。
そのまま使用すると、破裂、発火、火災、発熱の原因となります。

禁止

通電状態で接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。
感電、けがの原因となります。

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

水などの液体をかけないでください。また、水などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、濡れた手での使用は絶対にしないでください。
電子回路のショートにより発熱、感電、火災、故障の原因となります。
万一液体がかかってしまった場合には直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。

強制

水に濡れたり、落下したり、破損したりした場合などはそのまま使用せず、ウィルコムサービスセンターまたはセイコーインスツルサポートデスクまでご連絡ください。

強制

日本の国内のみ利用可能です。
海外での利用はできません

禁止

ほこりの多い場所での使用、保管をしないでください。
発火、火災の原因になります。

⚠注意

禁止

乳幼児の手の届く場所には置かないでください。
けがなどの原因となります。また、小さな部品を飲み込む危険があります。

禁止

直射日光の当たる場所(自動車内など)、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。
破裂、発火、火災の原因となります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落下してけがの原因となります。また、WX03Sがバイブ設定になっている場合、バイブにより落下する可能性があるため特にご注意ください。

禁止

外部から電源が供給されている状態のWX03S本体、電池パック、ACアダプタに長時間、触れないでください。
低温やけどの原因となります。

WX03S本体について

共通の注意事項（WX03S 本体、電池パック）についての記載も必ずお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠警告

禁止

自動車、バイク、自転車などの運転中には使用しないでください。
交通事故の原因となります。自動車、バイク、自転車運転中の PHS の使用は法律で禁止されています。

強制

航空機の機内では電源を切ってください。
電波が電子機器に影響を及ぼし、運航の安全に支障をきたすおそれがあります。航空機内での使用は法律で禁止されています。

強制

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器の近くで本電話機を使用される場合は、電波によりそれらの装置、機器に影響を与えるおそれがあるため、次のことを守ってください。

1. 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、本電話機を植込み型心臓ペースメーカーなどの装着部から 22 cm 以上離して携行および使用してください。

2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカー、植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本電話機の電源を切ってください。

3. 医療機関の屋内では次のことに注意して使用してください。

手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本電話機を持ち込まない。

病棟内では、本電話機の電源を切る。

ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本電話機の電源を切る。

医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。

4. 医療機関の外で植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

ここに記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（平成9年3月「不要電波問題対策協議会」〈現電波環境協議会〉）に準拠し、また「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成13年3月「社団法人電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

PHS については平成 12 ～ 13 年度に調査が行われ、平成 17 年に上記指針、報告書の内容が妥当であることが総務省より公表されています。

強制

高精度な電子機器の近くでは電源を切ってください。
電子機器に影響を与える場合があります。
〈影響を与えるおそれがある機器の例〉
心臓ペースメーカー、補聴器、その他の医用電子機器、火災報知器、自動ドアなど。
医用電子機器をお使いの場合は、電波による影響について機器メーカーまたは販売者にご確認ください。

強制

通話、メールなどをするときは周囲の安全を確認してください。
安全を確認せずに使用すると、転倒、交通事故の原因となります。

強制

屋外で雷鳴が聞こえた場合は、直ちに WX03S の使用を中止してください。
落雷、感電の原因となります。

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

雨天、降雪中、海岸、水辺などで使用する場合の水ぬれや湿気、身に付けている場合は汗による湿気にご注意ください。
感電や電子回路のショートの原因となります。

禁止

WX03Sが落下により破損し、電話機内部が露出した場合、露出部分に手を触れないでください。
感電したり、破損部でけがをすることがあります。ウィルコムサービスセンターまたはセイコーインスツルサポートデスクまでご連絡ください。

強制

心臓の弱い方はバイブ設定や音量の大きさの設定にご注意ください。
心臓に影響を与える可能性があります。

禁止

暗い部屋で、画面の強い光や光の点滅を見つめないでください。
強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ていると、ごくまれに筋肉のまひや意識の喪失などの症状を起こす場合があります。こうした経験のある方は、事前に必ず医師と相談してください。

強制

通常は、USB 端子カバー、電池カバーなどをはめた状態で使用してください。
カバーをはめずに使用していると、ほこりや水などが入り、感電や電子回路のショートの原因となります。

⚠注意

禁止

WX03S に取り付けたハンドストラップなどを持って振り回さないでください。
けがの原因となります。

禁止

キャッシュカードやフロッピーディスク等の磁気を帯びた記録媒体や電子機器、金属製品を近づけないでください。
磁気データの消失の原因となります。

強制

電池カバーを開ける際は指の腹を使用し開けてください。
爪を引っかけて開けると爪を痛める危険があります。

禁止

赤外線通信を行うときは、赤外線ポートに目を向けないでください。
目に影響を与えることがあります。

禁止

イヤフォンをヘッドフォン端子から引き抜くときは、コードを引っ張らないでください。
断線するおそれがあります。

禁止

モバイルバッテリー機能をご使用後は、USB 端子カバーをしっかり閉じてください。
水分やほこり等の異物が入ると故障の原因となります。

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

水滴がついたまま、パソコン等の電子機器へ接続しないでください。
パソコンの内部に水が入り、故障の原因になります。

強制

皮膚に異常を感じたときは、直ちに使用をやめ、皮膚科専門医へご相談ください。

お客様の体質、体調によってはかゆみ、かぶれ、湿疹などを生じる場合があります。

本製品は、以下に記載の材料、表面処理を施しております。

- **外装ケース（表面、裏面、側面外周）**
  ポリカーボネイト樹脂
  アクリル系UV硬化塗装
- **ディスプレイパネル**
  アクリル樹脂
- **LED表示部**
  ポリカーボネイト樹脂
- **赤外線ポート**
  ポリカーボネイト樹脂
- **サイドキー**
  ポリアセタール樹脂
- **USB端子カバー**
  ポリカーボネイト樹脂
  ポリウレタン樹脂
  アクリル系UV硬化塗装
- **キーパッド**
  ポリカーボネイト樹脂
  アクリル系UV硬化塗装
- **ネジ**
  鉄
  Ｚｎメッキ

禁止

受話音量を上げたまま、長時間の通話に使用しないでください。スピーカーに耳を近づけないでください。

聴力に悪い影響を与えることがあります。

禁止

ズボンやスカートの後ろポケットに WX03S を入れたままイスなどに座らないでください。また、カバンの底など無理な力がかかるような場所に入れないでください。

破損の原因となることがあります。

強制

使用時以外は USB ケーブルを Micro USB/USB-A端子から抜いてください。

破裂、発火、火災、発熱、感電の原因となります。

強制

USB ケーブルは、コネクタの向きをよく確認してから Micro USB/USB-A 端子に挿し込んでください。

コネクタが逆向きの方向で無理にUSB ケーブルを挿し込むと、破損の原因となることがあります。

強制

USB ケーブルは、Micro USB/USB-A端子に根元まで確実に差し込んでください。

差し込みが不完全ですと、破裂、発火、火災、発熱、感電の原因となります。

禁止

USB ケーブルが傷んだり、Micro USB/USB-A 端子の差し込みがゆるいときは使用しないでください。

破裂、発火、火災、発熱、感電の原因となります。

電池パックについて

共通の注意事項（WX03S 本体、電池パック）についての記載も必ずお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠危険

強制

持ち運ぶ際や保管するときは、金属片（ネックレスやヘアピン）などと接続端子が触れないようにしてください。
電池パックがショートし、過大な電流が流れ、破裂、発火、発熱の原因となります。

禁止

クギを刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたり、落下させたりしないでください。
破裂、発火、発熱の原因となります。

強制

内部の液が目に入った場合は、こすらずすぐにきれいな水で十分洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
放置すると失明するおそれがあります。

⚠警告

強制

漏液したり、異臭がするときは直ちに使用を中止してください。また、万一近くに火気がある場合は、火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、破裂、発火の原因となります。

強制

内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちにきれいな水で十分に洗い流してください。また、皮膚に異常を感じたときには、直ちに皮膚科専門医へご相談ください。
皮膚がかぶれたりする原因となります。

強制

所定の時間を超えても充電が完了しない場合は、直ちに充電をやめてください。
電池パックの液漏れ、破裂、発火、火災、発熱の原因となります。ウィルコムサービスセンターまたはセイコーインスツルサポートデスクまでご連絡ください。

禁止

指定の電池パック以外は使用しないでください。
故障、発火、感電、障害の原因となります。

⚠注意

禁止

不要な電池パックは、一般のゴミといっしょに捨てないでください。
環境保護のため、お近くのウィルコムプラザまたはモバイル・リサイクル・ネットワークのあるお店にお持ちください。

Li-ion00

禁止

電池の＋と－をショートさせないでください。
破裂・発火・発熱の原因となります。

知っておいてください

劇場や映画館、レストランやホテルのロビー、図書館、病院など、人の多い場所や静かな場所では電源を切るか、周りの方の迷惑にならないように注意してください。

回線が混み合っていると、電波状態が良好でも発信したときに「ツーツー…」という音が鳴って使用できないことがあります。少し待ってからお使いください。

お取り扱い上のご注意

WX03S本体、電池パック共通

無理な力がかかるとディスプレイや内部の基板などが破損し、故障の原因となります。ズボンやスカートのポケットに入れたまま座ったり、カバンの中で重いものの下になったりしないようにご注意ください。外部に破損がなくても、保証の対象外となります。

極端な高温、低温、多湿はお避けください。周囲の温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内で使用してください。

ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。

WX03S本体のUSB端子/Micro USB端子、ACアダプタのコネクタを、ときどき乾いたきれいな綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき電源コネクタを変形させないでください。

汚れた場合はやわらかい布で乾拭きしてください。ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤などを使用すると外装や文字が変質するおそれがありますので、使用しないでください。

固定電話、テレビ、ラジオなどを使っている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れて使用してください。

通話中、メールなどの利用中や充電中などに、温かくなることがありますが異常ではありません。

電池パックは、電源を切ってから取り外してください。

充電時や Bluetooth 機能の長時間連続使用時は、本電話機が熱くなることがありますのでご注意ください。

WX03S本体について

WX03Sで使用しているディスプレイは非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット（点）または、常時点灯するドットが存在する場合があります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。本体を振り回したりそらしたりして、本体に無理な力が加わると破損やけがの原因となりますので取り扱いには十分ご注意ください。

強く押す、叩くなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。キズの発生や、破損の原因となることがあります。

ディスプレイを硬いものでこすったりして傷つけないようにご注意ください。

ポケットおよびバッグなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。また、金属などの硬い部材のストラップは、ディスプレイのキズの発生や破損の原因となることがありますのでご注意ください。

受話音声をお聞きになるときは、受話口が耳の中央部に当たるようにしてお使いください。受話口の穴が耳周囲にふさがれて音声が聞きづらくなる場合があります。

寒い屋外から急に暖かい室内に移動した場合や、湿度の高い場所で使用された場合、WX03S内部に水滴がつくことがあります（結露といいます）。このような条件下での使用は故障の原因となりますのでご注意ください。

エアコンの吹き出し口などの近くに置かないでください。急激な温度変化により結露すると、内部が腐食し故障の原因となります。

データを再生中に無理なキー操作を行うと、データが停止するなど通常と異なる動作をする場合があります。

電話帳やメモ帳などに登録した内容は、事故や故障・修理・その他取り扱いによって、変化・消失する場合があります。大切な内容は手帳などに控えておいてください。なお、事故や故障が原因で、電話帳やメモ帳などが変化・消失した場合の損害および損失利益につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

自動車内で使用した場合に、車載機器の影響によりノイズが入り、通常通話ができないことがありますのでご注意ください。

電池パックについて

WX03Sの電池パックは、リチウムイオン電池です。

夏季、閉めきった車内に放置するなど極端な高温や低温環境では、電池パックの容量が低下し利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ常温でお使いください。

長時間使用しない場合には、本体から外し、ケース等に入れて高温多湿を避けて保管してください。

はじめてご使用になるときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。充電中、電池パックが温かくなることがありますが異常ではありません。

電池は消耗品です。使用できる時間が最初に比べて約半分程度になると交換時期です。なお、寿命は使用状態によって異なります。

環境保護のため、不要になった電池は廃棄しないで、ウィルコムプラザ、ウィルコムカウンターまたはモバイルリサイクルネットワークマークのある販売店へお持ちください。

充電について

ご使用にならないときは、AC アダプタの電源プラグをコンセントから外してください。

充電中に周囲の温度が高すぎたり低すぎたりすると、保護機能がはたらいて充電が停止し、フル充電できないことがあります。周囲の温度が5 ℃～35 ℃の場所にしばらく置くと、充電を再開します。

WX03S本体のMicro USB端子、ACアダプタの充電端子はときどき乾いたきれいな綿棒で清掃してください。汚れていると接触不良の原因となります。

ウィルコム指定のACアダプタ（オプション品）以外で充電しないでください。

Bluetooth機能について

周波数帯について本製品の Bluetooth 機能が使用する周波数帯は、製品本体の電池パック挿入部に記載されております。

2．4	：2．4GHz帯を使用する無線設備を表します。
FH	：変調方式がFH−SS方式であることを示します。
1	：想定される与干渉距離が約10m以下であることを示します。
	：2400MHz～2483．5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1．本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

2．万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止（電源を切る）してください。

3．ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、本書記載のお問い合わせ先までご連絡ください。

本製品は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth通信機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。

Bluetooth 機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

航空機内の使用は、事前に各航空機会社へご確認ください。

通信機器間の適切な距離や通信速度は、機器間の障害物や電波状況、壁の有無・素材など、周囲の環境により変化します。場合によっては、通信距離や通信速度が低下したり、通信が切断されることがあります。

ヘッドフォン、イヤフォンについて

ヘッドフォンやイヤフォンのコネクタをヘッドフォン端子から引き抜くときは、コードを引っ張らないでください。断線するおそれがあります。

本書の読み方

操作方法について詳しくは、「機能の呼び出しかた（P.30）」をご覧になり本書をお読みください。

また、本書をご覧になるうえでの注意点や補足事項、ヒントは次の表示方法で説明しています。

■注 意■
注意事項が記載されています。

（補 足）
●補足事項が記載されています。

ヒント
■利用上のヒントが記載されています。

本書をお読みになる場合の留意点
本書は、お買い上げ時の設定をもとに説明しています。お買い上げ後の設定変更によって動作が異なる場合がございます。

誤った操作方法や機能に制限のある場合などは、待受け画面にメッセージが表示されます。メッセージの内容をご確認のうえ、操作を行ってください。

本書で掲載している画面はイメージです。実際の画面とは異なる場合がございます。